

「そうか、ここは駄菓子屋の辺りか。」

約30年振りに訪れたこの場所は、小学校6年間の記憶の片隅にもなく、
ここがどこなのかを理解するのに少し時間を要した。

当初マンションの1室を改修するだけで十分だと思っていた自分からすると、
1年くらいかけて随分と土地を探して疲れきっていた頃だった。

妻がインターネットの検索サイトからこの場所を見つけてきた。

「ここ、予算少しオーバーするかもしれないけど、場所が理想的。」

県外から移り住んできた妻が、場所が理想的と言うのなら、見に行ってみるか。

きちんと住所も見ずに、この場所に行ってみると、自分の中で気持ち悪い何かが流れた。

そう、この場所はかつて商店街だった。

そして、私が通っていた小学校の通学路から少し外れた寄り道コースで、子供だった私からすると、それはもう通学路の一部だった。

当時あったはずのアーケードは既がない。

商店街の入口にあった、ソースをかけてくれないタコ焼き屋もないし、オレンジジュースとグリーンティーが噴水のように吹き上がるジュースを店先に置いていたお茶屋さんもない。

あるのは、小学校の一学年上の先輩の実家である練り物屋くらいだった。

というよりも、子供の頃に毎日通ったはずの通学路の記憶が散り散りになっていて、ひとつもこの風景と繋がらなかった。

目一杯頭を回転させて記憶を辿ると、しばらくして、当時ここが駄菓子屋だった場所だと、ぼんやり思い出した。

私は両親がうまくいってなかったこともあって、その全盛期、特に小学生の頃の記憶は蓋をしておきたいくらいな人生で、驚いたことにそれなりに蓋を閉めていた。

あれから約 30 年経った。

ざわざわした気持ちと、何とも言えない懐かしさが共存しながら、
当時を思い出せないくらいに変わってしまった元商店街を眺めていた。

おそらく当時から存在していたのであろう商店が点在しながら、
かき分けるように新しい住宅がぼつぼつと建っている。

現存する店も軒先のオーニングやテントが、自分の記憶とシンクロするかのよう
にボロボロになっていて、商店街が過去の産物になってしまっていることが、
容易に想像できた。

既に商店街ではなくなってしまう残念な光景に見えたが、布を生業とする者からす
れば、残念に思うと同時に、もしかしたら自分が何かできるのでは、とも思った。

ふと、後方を振り返ると、6年間通っていた小学校が、なにか堂々と建っている。

「そうか、ここに住めば、娘は自分と同じ小学校に通うのか。」

ここに立っていると、小学生の頃にタイムスリップしたかのように辺りを見ていたので、当たり前なのに気づくのにさえ、少しの時間を要した。

ここで家族と生活すること、ここから通勤すること、

ここから娘を送り出すこと、どれも想像できなかったが、

この場所に縁もゆかりもない妻と、十年来の付き合いの信頼する建築家が、この場所が良いと言った。

当時の風景、当時の私を全く知らない二人の意見に乗ってみようと思った。

そして、その後に出会う工務店を営む夫婦も朴とつで素敵な二人だった。

2、3度会ったことがあって、なんとなくだけど、人間的に信頼できた。

これは悪いようにはならないなと思い、この場所に戻ることに決めた。

30年経って馴染みの町に帰ってくるみたいなの、センチメンタルなものは正直ない。

馴染みどころか、記憶も散乱していて、ただの新参者なのである。

当時子供だった自分は親になっていて、支えてくれる妻がいて、娘がいる。

妻や娘からすれば、新しい家に引っ越して、今までと違った新しい生活をする、というどこの家庭にでもあるオーソドックスなことであるが、自分は違った。

すうっと自分の中に流れてきた気持ち悪さが、なんとなくわかった気がした。
慣れ親しんでいたはずなのに、ほとんど何も覚えていないこの場所で、
当時とは違う家族構成で新たな生活を送ること。
自分の記憶を少しずつ回収（改修）しながら、今の家族たちと新しい記憶を作ること。
そして、いつかは母親と暮らす日も訪れるのではないかとも思った。
約30年もの間、こびりついて開かなくなってしまった蓋を開けてみようかと思った。
毎日遊んでばかりいた小学生の頃から大人になって、布の意匠計画の仕事を営んでいる。
その職能の一部が、もしかしたら、この元商店街に対して何かできるかもしれない。
そう一方的、そして私的に思いながら、自分の記憶を修復するかのように、
ボロボロになってしまったテント群を修繕していきたいと半ば勝手に思った。
そしてこの場所に、新参者として根付いていこうとも思った。
今の自分に力を貸してくれるこの人たちとなら、この場所から前に進める気がしている。
そんなことをぼーっと考えながら、この場所にずっと突っ立っていた。

ずっとこの場所で立ち続ける 2019_5_12_着工